

学校長殿
担当教員殿

第8回日本高校生パーラメンタリーディベート連盟杯全国大会
HPDU Competition 2019 (Co-sponsored by HPDU and ESUJ) 実施要領

- 共同主催：一般社団法人 日本高校生パーラメンタリーディベート連盟 (HPDU of Japan)
一般社団法人 日本英語交流連盟 (The English-Speaking Union of Japan)
- 後援：文部科学省 (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology)
ブリティッシュ・カウンシル (British Council)
カナダ大使館 (Embassy of Canada to Japan)
オーストラリア大使館 (Australian Embassy Tokyo)
- 特別協賛：有限責任 あずさ監査法人 (KPMG AZSA LLC)
- 協賛：公益財団法人 日本英語検定協会 (Eiken Foundation of Japan)
iae グローバルジャパン株式会社 (iae GLOBAL JAPAN, Inc.)
株式会社テレビ東京 (TV TOKYO Corporation)
トヨタ自動車株式会社 (TOYOTA MOTOR CORPORATION)
キヤノン株式会社 (CANON INC.)
キヤノンマーケティングジャパン株式会社 (Canon Marketing Japan Inc.)
ANA ホールディングス株式会社 (ANA HOLDINGS INC.)
- メディアパートナー：読売新聞社 (THE YOMIURI SHIMBUN)
- 協力：株式会社アルク (ALC PRESS INC.)
イーエムティー株式会社 (Energy Management Technologies KK)
エイムネクスト株式会社 (AIMNEXT Inc.)
株式会社EduLab (EduLab, Inc.)
株式会社オールアバウト (All About, Inc.)
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 (Japan Philharmonic Orchestra)
油井アソシエイツ株式会社 (YUI ASSOCIATES, Inc)

1 趣 旨

全国の高校生に、即興型であるパーラメンタリーディベートの試合を行う機会を提供することにより、グローバル社会で活躍するのに必要とされる英語による論理的発信能力、問題発見解決能力、クリティカル・シンキング、コラボレーション力、グローバル課題や時事問題についての基礎知識、そして緩急やジェスチャー、ユーモアなどを意識した聞き手目線の分かりやすいパブリック・スピーチ力を養う。また、参加者間の交流を図り、共に学び合う関係を作る。

2 日時・場所

期間：2019年3月24日（日）9:00～25日（月）17:00（1泊2日）

大会、宿泊会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

集合時間・場所：24日9:00～9:30 センター棟417前で受け付け

3 内容

World School's Debating Championships (WSDC) Style（但し本大会用に修正を加えたもの）による英語ディベート大会。

- ・3月24日（日）42チームによる全国大会予選、モデルディベート

予選は4試合行われる。2、3、4試合目はパワーペアリングとなる。順位は、各チームの勝ち数と得点ポイントで決定される。

- ・3月25日（月）決勝トーナメント（ベスト8チーム）とトーナメント2（ベスト9～16チーム）、英国ESUメンターによるワークショップ（準決勝と同時刻に実施、希望者が参加）。

4 参加資格

日本高校生パラメンタリーディベート連盟に公式認定された各都道府県大会に参加し、出場権を獲得した高校または団体の生徒(留学生、帰国生徒、外国籍の生徒も含む)で構成された3人チーム。

同一校のチームの参加とする。ただし、英会話スクールなど高等学校以外の団体は例外とする。

5 参加費

1チームにつき20,000円（選手及び引率者の大会中の食費、宿泊費を含む。）

6 大会の日程

第1日目 予選

9:00 受付、入場（センター棟417に集合）

9:30 開会式

10:00 第1試合の対戦表・論題発表（準備時間20分）

10:20 第1試合開始（試合後ジャッジによる勝敗の説明）

12:00 昼食（カフェテリア「ふじ」にて）

13:30 第2試合の対戦表・論題発表（準備時間20分）

13:50 第2試合開始（試合後ジャッジによる勝敗の説明）

15:00 第3試合の対戦表・論題発表（準備時間20分）

15:20 第3試合開始（試合後ジャッジによる勝敗の説明）

16:30 プレゼンテーション①（センター棟417にて）

公益財団法人日本英語検定協会 教育事業部4技能推進課主任 小原利恵子氏

『英検・TEAP・IELTSを活用しよう!』

引率者ミーティング（国際会議室にて）

- 17:30 夕食 (カフェテリア「ふじ」にて)
- 19:00 第4試合の対戦表・論題発表 (準備時間20分)
- 19:20 第4試合開始 (close)
- 20:20 英国 ESU メンター、昨年度 HPDU 杯優勝選手、社会人ディベーター、大学生
ディベーターによるモデルディベート (センター棟 4 1 7にて)
- 21:00 伝達後、解散

第 2 日目 決勝トーナメント、トーナメント 2(ベスト 9~16 のチームによるトーナメント)

- 6:30 起床
- 7:00 シーツ回収後、朝食
- 8:45 集合、点呼
- 9:00 入場
- 9:10 トーナメント出場チーム発表
- 9:30 準々決勝 対戦表・論題発表 (準備時間25分)
- 9:55 準々決勝 試合開始、
- 11:10 準決勝 対戦表・論題発表 (準備時間25分)
- 11:35 準決勝 試合開始 /英国ESUメンターによるワークショップ
- 12:20 昼食
- 13:30 決勝 対戦表・論題発表 (準備時間 25 分)
- 13:40 プレゼンテーション②
株式会社 テレビ東京 総務人事部総務部TXHD CSR推進委員会 事務局長
高塚有香氏、
株式会社テレビ東京 編成局アナウンス部 前田真理子氏
『次世代育成キャリア教育プログラムと社会で活躍するためのスキル』
- 14:00 決勝 試合開始
- 15:10 プレゼンテーション③
iaeグローバルジャパン株式会社 代表取締役 左近允隼人氏
- 15:30 閉会式 表彰
- 16:00 解散

7 試合形式

[対戦組み合わせについて]

第 1 試合の対戦組み合わせは事前にランダムで決める。予選 2 ~ 4 試合目はパワーペアリングによって決める。予選 4 試合の勝敗数、そして勝敗数が同じチーム間ではスピーカーズ・スコアの総得点で、予選の順位を決定する。上位 8 チームが決勝トーナメントに進出し、準々決勝では予選の成績が良かった順に 1~8 の番号を振り、以下の通りで対戦を行う。

[準々決勝 A] team 1 対 team 8

[準々決勝 B] team 2 対 team 7

[準々決勝 C] team 3 対 team 6

[準々決勝 D] team 4 対 team 5

[試合開始前の準備時間について]

論題は、予選では試合開始の 20 分前に発表される。論題発表後以降は、ディベーターはチームメイト以外の人との相談は禁止とする（顧問との相談も禁止）。

決勝トーナメントでは、準備時間は 25 分とする。高価な道具を用意できたかどうかによって勝敗が左右されることがないように、論題発表以降は、ストップウォッチ、電子辞書専用機を除いた電子機器の使用は禁止する。

【スピーチの順番および時間】

試合の流れ 準備時間 第一日目20分、第二日目25分

- 1) 1st Affirmative Speaker 【5 分】
- 2) 1st Negative Speaker 【5 分】
- 3) 2nd Affirmative Speaker 【5 分】
- 4) 2nd Negative Speaker 【5 分】
- 5) Government Whip 【5 分】
- 6) Opposition Whip 【5 分】
- 7) Opposition Reply 【4 分】
- 8) Government Reply 【4 分】

*決勝のみ Constructive Speech を各 7 分とします。

* 最初の 6 つのスピーチ(Constructive Speech)の時間は各 5 分間、ただし決勝ラウンドのみ各 7 分間。Reply Speech は 4 分間。各 Constructive Speech の最初と最後の 30 秒間（決勝戦のみ 1 分間）を除いた時間では、対戦相手のチームは Point of Information（質問、反論、コメント）を行うことができ、Point of Information がスピーカーから許可された場合、最長で 15 秒話すことができる。

Reply Speech は、チームの 1 人目または、2 人目のスピーカーのいずれかが行い、Whip Speaker が Reply speech を行うことはできない。

[スピーカーの役割]

- ・各チーム最初の 2 人のスピーカーは、それぞれ肯定または否定側の議論を示し、また相手チームの議論に最低限の反論をする。
- ・3 人目の Whip speaker は、主に相手チームの議論への反論、そして反論された内容を受けての議論の立て直しを行う。より詳しいやり方については、HPDU のホームページの「参考資料」内「Whip を極める」を参考にして下さい。
- ・Reply Speech では、どうして自分たちのチームがその試合で勝利したのか、いくつかの争点に絞って説明を行う。

8 評価方法

[勝敗について]

- 各試合では、勝敗と各スピーカーの個人得点が決められる。Constructive Speech では、以下の表で示すとおり、75 を基準に上下 8 点の幅で各スピーチに得点が与えられ、Reply speech では、37.5 を基準に上下 4 点の幅で得点が与えられる。予選ではジャッジが試合終了後に口頭で試合の勝敗とその理由を説明する。

Constructive Speeches (out of 100)

Standard	Overall
Excellent	82-83
Good	79-81
Above Average	76-78
Average	75
Below Average	72-74
Poor	69-71
Extremely Poor	67-68

Reply Speeches (out of 50)

Standard	Overall
Excellent	41 – 41.5
Good	39.5 – 40.5
Above Average	38 – 39
Average	37.5
Below Average	36 – 37
Poor	34.5 – 35.5
Extremely Poor	33.5 – 34

9 その他の注意事項

- 当日は、顧問の方、もしくは保護者の方がご引率ください。
- ディベーターはストップウォッチかタイマーを持参してください。携帯電話やスマートフォンは使用できません。
- ディベーターは準備時間内にチーム内の者以外と相談することはできません。また、電子辞書を除いた電子機器(例 インターネット接続機能を持ったタブレット・コンピューター等)を準備時間内そして試合中に用いることはできません。
- 試合の撮影は、引率者および保護者の方にのみ許可いたします。ただし、他校の生徒を撮影する場合は、必ず本人及び引率者の許可を得てください。
- HPDUやESUJの記録担当が撮影したのものに関しては、後日、HPDUやESUJのホームページ、後援・共催・協力団体への報告書、HPDUやESUJについての説明会や講演で使用することがあります。
- メディアによる取材や撮影は、メディアパートナーである読売新聞社および HPDU が許可し、国立オリンピック記念青少年総合センターに事前に届けを提出した団体に限ります。

10 各種教育奨励賞

- 1) ESUJ 賞:優勝チームを英国で行われる英国E S U主催ディベートキャンプ Debate Academy 2019 へ招待 (2019年7月28日から8月3日)
- 2) iae グローバルジャパン賞:準優勝チームを豪州シドニー工科大学語学研修に招待 (2019年7月28日から8月3日)

- 3) あずさ監査法人賞：参加者全員に HPDU 特製パラメンタリーディベート練習用テキストを贈呈
- 4) 日本英語検定協会賞：予選ベストスピーカー賞受賞生徒、決勝トーナメント出場校に図書カードを贈呈
- 5) 日本フィルハーモニー交響楽団賞：上位 4 チームにコンサートチケット、または音楽 CD を贈呈
- 6) キヤノン賞：第 3 位のうち 1 チームにデジタルカメラを贈呈
- 7) キヤノンマーケティングジャパン賞：第 3 位のうち 1 チームにスマホ専用ミニフォトプリンターを贈呈
- 8) アルク賞：優勝トーナメントおよびトーナメント 2 (9 位から 16 位) 出場チームに『AFN・VOA・BBC で聴く 10 年』を贈呈

※上記の副賞「海外研修」について

- ・ 優勝校には英国 Debate Academy、準優勝校には豪州シドニー工科大学で行われる研修に生徒 3 名と引率者 1 名を派遣する権利が進呈されます。
- ・ 各研修に参加する生徒の数は 3 名全員でなく、1～2 名でも構いません。
- ・ 各研修に参加する生徒は同校の生徒で研修を受講する英語力があれば、大会で賞を獲得した選手でなくても構いません。
- ・ 権利を獲得した学校は 3 月 31 日までに、研修に参加するか、あるいは辞退するかを本連盟のメールアドレス hpdulp@gmail.com に連絡してください。参加を表明された学校はすみやかに参加承諾書を提出していただき、4 月上旬中にパスポートの取得、現地研修への参加登録などの手続きを行っていただきます。
- ・ 優勝校が辞退した場合、英国 Debate Academy の権利は準優勝校に、豪州シドニー工科大学の権利は 3 位になった 2 チームのうち 3 月 24 日の全国大会予選における総合点が高かった学校に移ります。以下同様に権利が移って行きます。

11 HPDU 杯全国大会実行委員および役員

- 理事長 北原隆志 (渋谷教育学園渋谷高等学校教諭)
- 事務局長 古賀記洋子 (日本大学第一高等学校教諭)
- 理事 小林良裕 (豊島岡女子学園高等学校教諭)
- 前田和 (埼玉県立久喜北陽高等学校教諭)
- 浜野清澄 (さいたま市立浦和高等学校教諭)
- 西崎真広 (桐光学園中学校・高等学校教諭)
- 天海揚介 (OBOG 代表)
- 須田智之 (筑波大学附属駒場中・高等学校教諭)
- 大関朝美 (富士見中学高等学校教諭)
- 河野周 (元浅野中学・高等学校教諭、シドニー大学大学院在学)
- 運営委員 吉野舞起子 (一般社団法人 日本英語交流連盟 (ESUJ) 事務局長)
- 岡祐司 (渋谷教育学園渋谷高等学校教諭)
- 西山哲郎 (東大寺学園中・高等学校)

監事 油井直次（油井アソシエイツ株式会社 代表取締役、元公益財団法人 日本英語検定協会 会長）

名誉顧問 明石康（公益財団法人 国立京都国際会館 理事長、一般社団法人 日本英語交流連盟副会長、元国連事務次長）

沼田貞昭（一般社団法人 日本英語交流連盟会長、元駐カナダ大使）

主顧問 岡田真樹子（一般社団法人 日本英語交流連盟常務理事、元山梨英和大学 人間文化学部人間文化学科 教授）

顧問 加藤一郎（千葉大学客員教授、NPO 植物工場研究会特別研究員、独立行政法人 農畜産業振興機構評価委員会委員、一般社団法人 漢方産業化推進研究会顧問、富山県薬用作物実用化研究会顧問、千葉大学医学部附属病院有識者委員）

新庄一郎（弁護士）

特別顧問 綾部功（東海大学 文学部英語文化コミュニケーション学科 准教授）

中川智皓（大阪府立大学 工学研究科 機械工学分野 准教授）

チーフコーチ 小野暢思

- ・ 2014 年 ESUJ 大学対抗ディベート大会優勝、2016 年 ESUJ 社会人英語ディベート大会優勝、2017 年第 20 回記念 ESUJ 英語ディベート大会優勝など、国内外の各種パラメンタリーディベート大会で優勝 31 回、ベストスピーカー賞 26 回
- ・ 2015 年パラメンタリーディベート世界大会（World Universities Debating Championship）ESL 部門 Quarter Finalist、EFL 部門 4th Best Speaker
 - ・ 各種セミナーの講師を務める
 - ・ 本大会ではモデルディベートも行う

英国 ESU メンター:

Ameena Khan Sullivan (University of Surrey, former President of University of Surrey Debating Society)

Edward Booth (University of East Anglia, former President and head coach of University of East Anglia Debating Union)

モデルディベーター:

齋藤陸（第 7 回 HPDU 杯全国大会優勝者、渋谷教育学園渋谷高校 3 年）

早川亮（慶應義塾討論会 OB、ボストンコンサルティンググループ勤務、2009 年度 Spring JPDU Tournament 個人 1 位、2009 年度 Autumn JPDU Tournament 個人 2 位、2009 年度 Japan BP 個人 1 位、2009 年度 The Kansai 個人 2 位、2009 年度 ICU Tournament 準優勝、2009 年度ディベートのすすめ準優勝）

ハウス文恵（ECC ジュニア・BS 講師）